様式第8号(規格 A4)(第8条関係)

景観計画適合チェックシート

(屋外における物件の堆積用)

| 景観形成基準 | | | | | | チェック欄 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 適用する景 | | | | 基準の内容 | |
| 生活 | みどり | うるおい | 歴史 |
| ● | ● |  |  | 物品を積み上げる場合には、高さを抑え、周囲に圧迫感を与えないようにするとともに、道路等から見えにくいようにすること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
| ● | ● |  |  | 道路等に接する敷地境界からは、できるだけ離れた位置から集積又は貯蔵を始めること。また、周辺の道路等からの遮蔽に配慮した敷地内及び敷地周囲の緑化に努めること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
| ● | ● |  |  | 塀及び囲いなどを設ける場合は、その色彩を別表「推奨色」に適合させるとともに、周辺景観と調和させること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
|  |  | ● |  | 水辺に面する部分にオープンスペースを設けたり、緑化したりするなど、水辺に配慮した魅力的な空間づくりを行うよう努めること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
|  |  | ● |  | 河川、湖沼など、水辺に面する敷地においては、自然景観の季節の移り変わりを考慮し、木材、石材などの自然素材色と共通する色調を基調とするなど、配慮すること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観の保全に配慮した配置とすること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観を阻害しないよう、周辺と調和した高さとすること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
|  |  |  | ● | 歴史的景観を阻害しないよう、建物及び工作物の形態、意匠又は色彩に配慮すること。 | | □はい　□いいえ  □該当なし |
| (具体的な配慮事項・配慮できない理由) | | | | | ※　(指導事項) | |

(別表)　推奨色　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本産業規格Z8721マンセル表色系による

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 色相 | 彩度 | 明度 |
| 壁面 | R(赤) | 5以下 | 7以下 |
| YR(黄赤) | 4以下 | 7以下 |
| Y(黄) | 3以下 | 8以下 |
| GY(黄緑) | 2以下 | 8以下 |
| G(緑) | 3以下 | 8以下 |
| BG(青緑) | 3以下 | 9以下 |
| B(青) | 2以下 | 8以下 |
| PB(青紫) | 3以下 | 7以下 |
| P(紫) | 2以下 | 8以下 |
| RP(赤紫) | 4以下 | 8以下 |
| N(無彩色) | － | 全範囲 |
| 屋根 | R(赤) | 5以下 | 5以下 |
| YR(黄赤) | 4以下 | 5以下 |
| Y(黄) | 2以下 | 5以下 |
| GY(黄緑) | 2以下 | 4以下 |
| G(緑) | 2以下 | 5以下 |
| BG(青緑) | 2以下 | 3以下 |
| B(青) | 4以下 | 5以下 |
| PB(青紫) | 3以下 | 5以下 |
| P(紫)～RP(赤紫) | 3以下 | 4以下 |
| N(無彩色) | － | 全範囲 |

1 太枠内の暖色系色相(R・YR・Y)の使用を特に推奨します。

2 木材、天然の石材、漆喰、土、レンガ(土を焼成)など、自然本来の着色されていない色を持つ素材は、これに限りません。

3 企業が定めたコーポレートカラー等については、これに限りません。